

## 「日本一の知恵工場」に学ぶ！

～その6～

社長と社員の

## 人生道場

株タニサケ会長

松岡 浩

Matsuoka Hiroshi



約束の時間に間に合えば良いわけはありません。人には心配をかけない、せめて10分前に集合する。それが大人の生き方ですよ。

つまり他者中心というのは、今よりも少し意識のレベルを上げる必要があるわけです。

もう一つ大事なものは、「頭の偏差値ではなく心の偏差値で勝負する」ということです。

頭の偏差値は学力のことです。ただ残念ながら、頭がいい人の中にはあまり素直でない人も多くいます。あいさつができない人もいます。

逆に、変に凝り固まっていない素直な人というのが「心の偏差値の高い人」です。

心の偏差値を高めるのは簡単で

す。朝早く出社してトイレ掃除をしたり、ゴミ箱を洗ったり、「おはようございます」と笑顔であいさつし、元気に過ごすことで自然に高まっていくのです。

人は何のために働くのでしょうか？

人が働く理由の一つ目は「自分を幸せにするため」です。

そして理由の二つ目は、「自分だけでなく、周りの人を幸せにして社会を幸せにするため」です。

そうやって考えていくと、給料が安くても頑張れそうな気がしてきませんか？

「あなたよく働くね」「俺は社会のために働いてるんだ」と言ったらカッコイイと思いませんか？

「仕事をやる」ということの中には「お客様」という大切な存在があります。

お客様は正直ですし、お世辞を言わず、叱ってくれます。だから仕事の中には成長が隠されて

いるのです。

仕事上の禁句があります。

「後でやるつもりです」

「言われなかった」

「聞かれなかった」

「私の担当ではありません」

です。

こうした禁句を言わないように意識すれば、きつと上司がうまく育ててくれるはずですよ。

「人生の成功と幸福は青少年時代の汗の量に比例する」

造園家で大学教授の本多静六さんがこう言っています。

では、どうすれば他人のために汗をかけるのでしょうか？

たとえば、今より5分早く会社に行って、できることを探せばいいのです。

ちなみに私は今6時半に会社に来ています。そして10年間毎朝トイレ掃除を幹部2人とやってきました。

でもあるとき、「私たちがやりませんからやめてください」と、社員にトイレ掃除を取り上げられました。しまいました。

それ以後は、雨の日も風の日も長靴をはいて傘をさし、毎日1時間、会社周辺のごみを拾っています。これは16年くらいやっています。

(宮崎県職業能力開発協会が開催した講演会より)

何事をするにも大事なのが「自己中心なのか他者中心なのか」ということです。自己中心は子ども生き方です。これだといつまでも「いい歳をして」と言われます。

一方、他者中心は大人の生き方です。他人のために汗をかき、周りの人を喜ばせるので徳が高まります。

私も「タニサケ塾」という塾を主宰しています。

たとえば、最初来られた方は「決められた時間までに着けばいいだろう」ということでいただいたギリギリの時間に集合してこられます。

そこで私は言います。「皆さん

## 「人は何のために働くのか？」 について考える